

四日市市上下水道局
指定給水装置工事事業者 様

四日市市上下水道事業管理者 山本勝久
(公印省略)

給水装置工事の設計・施工の見直し等について (通知)

平素は、本市水道事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、みだしの件について、見直し等を行いましたので、下記のように通知します。

記

1. 仕切弁等の蓋の向きについて

仕切弁等の蓋の開閉向きは、流下方向に蝶番がくるように設置するのが原則です。これまで、横に振って付けた仕切弁等の蓋の向きは、お客様センターでは宅地側に蝶番がくるように指導してきましたが、上下水道局で統一するため、原則に従い、流下方向に蝶番がくるように変更します。

なお、ドレーン用に、本管上に設置する粉体仕切弁の蓋の向きも、原則に従って、流下方向に蝶番がくるように設置することを、念のため申し添えます。

2. 道路上仕切弁等の位置について

給水管の取り出しは、原則、本管に対して直角に取り出し、道路上に仕切弁を設置する際には、なるべく道路端に寄せて設置します。本管から側溝等までの離隔が取れない場合は、協議の上、仕切弁を横に振って設置したり、逆どりを行います。

令和2年8月5日の指定給水装置工事事業者への通知で、仕切弁の設置は、なるべく道路端に寄せ、その目標値として400～450mm(仕切弁)を設定しました。しかしながら、本管から側溝等までの距離が十分にあるにも関わらず、仕切弁を横に振ってまで寄せることは、上下水道局工事でも行っておらず、構造物等による切り下げ等から、離れが600～800mm程度になることは、やむを得ないものと判断します。

3. 宅内管理バルブの深さについて

道路上の水道管最低土被りは600mmであり、宅地内の土被りは300～450mm程度(車が乗る場合を除く)になります。そのため、宅地内で上げるのであれば、上げてから管理バルブを設置するように指導しています。宅内を600mmで施工するのであれば、あえて400mmに上げて管理バルブを付ける必要はありません。

<事務担当>

四日市市上下水道局

お客様センター 給水審査係

電話 059-354-8363

FAX 059-354-8375